

平成 24 年度
アライアンスビジネス委員会
活動報告

平成 25 年 3 月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

はじめに



アライアンスビジネス委員会では、IT プロダクトや関連サービス、技術を持つ IT ベンチャー企業などがプレゼンテーションの場を利用し、プレゼン実施企業と聴講者とのビジネスマッチングや懇親を促すことができる場を提供することを目的としたアライアンスビジネス交流会を平成 13 年 4 月からスタートし、平成 24 年度で 12 年目、通算 98 回の開催となりました。

平成 24 年度は、例年同様年間 8 回開催し、述べ 296 社／393 名にご参加いただきました。

また、業界関連団体（地域団体含む）との合同企画開催も今年は 4 回開催され、7 月には島根県の公益財団法人しまね産業振興財団、10 月には一般社団法人北海道 IT 推進協会（略称 HICTA）、11 月には一般社団法人日本ソフトウェア産業協会（略称 NSA）、そして平成 25 年 2 月には一般社団法人組込みシステム技術協会（略称 JASA）の協力を得て、相互の会員企業間における協業の可能性を模索する機会を提供することができました。特に島根県や北海道などの地域団体とのビジネスマッチングも引き続き実施することができ、今後の地域企業との連携や活性化を推進することにつながるものと確信しています。

次に、特別企画セミナーでは、最新技術情報や政府の施策などをテーマに 3 回実施しました。具体的には、6 月に「経済産業省の情報施策と中小企業支援策について」、7 月に「Ruby の現状と今後－現状の支援体制と利用実績から未来を占う－」、11 月に「間違いだらけのソフトウェア・マーケティングパッケージビジネスでの戦略的マーケティングとは？」と題してそれぞれ講演いただき好評を得ましたが、今年、残念だったことは、第 9 回アライアンス大賞最優秀賞の企業が選考されなかったことから、毎年開催している最優秀賞受賞企業の特別講演を実施できなかったことで、第 10 回目の表彰となる平成 25 年度に期待しているところです。

アライアンスビジネス委員会では、今後も IT ベンチャー企業の発掘・育成支援ならびにソフトウェア業界発展に寄与するための活動を引き続き行ってまいりますので、ぜひ、アライアンスビジネス交流会に発表者として、そして聴講者として積極的にご参加いただき、新しい技術やアイデアに触れていただくとともに、人的交流の拡大や新たなビジネス提携のきっかけ作りの場として活用いただけることを祈念しています。

最後に、アライアンスビジネス交流会への運営協力、IT ベンチャー企業の育成支援のための施策検討、プレゼンテーション実施企業へのアドバイス、アライアンスビジネス交流会当日の人脈拡大のサポートなど、多大なご協力を賜りましたアライアンスビジネス委員会メンバーの皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成 25 年 3 月

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
アライアンスビジネス委員会 委員長 田中 聰

目次

はじめに	1
アライアンスビジネス委員会 委員名簿	3
アライアンスビジネス委員会の活動	4
アライアンスビジネス交流会とは	5
アライアンスビジネス交流会 参加メリット	6
アライアンスビジネス交流会 当日の構成と流れ	6
アライアンスビジネス交流会 参加資格	7
アライアンスビジネス交流会 平成 24 年度の開催実績	8
アライアンスビジネス交流会 特別講演 開催実績	8
アライアンスビジネス交流会 他団体等との協力開催等の実績	9
アライアンスビジネス交流会 過去の主な参加企業	9
アライアンスビジネス交流会 ストリーミング配信	9
アライアンス大賞とは	10
アライアンス大賞受賞企業・製品一覧	12
第 9 回 CSAJ アライアンス大賞受賞企業・製品のご紹介	14
アライアンスビジネス交流会	
平成 24 年度プレゼンテーション企業一覧	16
平成 24 年度プレゼンテーション企業の概要及び発表内容	20
アライアンスビジネス委員会委員 ピックアップコメント	54

アライアンスビジネス委員会 委員名簿

(順不同、敬称略／部署・役職は、平成 25 年 3 月 31 日時点)

委員長	田中 聡	株式会社マイクロソフトウェア 代表取締役社長
委員	中道 泰隆	株式会社リードレックス 執行役員
〃	折登 泰樹	ピー・シー・エー株式会社 専務取締役
〃	加藤 太士	キヤノンソフト情報システム株式会社 システム開発本部長
〃	大原 泉	株式会社オービックビジネスコンサルタント 取締役 営業本部 広報室長
〃	廣田 泰久	日本事務器株式会社 事業推進本部 事業計画部 兼 クラウドサービス事業推進部 部長
〃	坂元 祥浩	シネックスインフォテック株式会社 執行役員 アドミニストレーション担当 (兼) 経営企画部長
〃	谷畑 良胤	株式会社BCN ビジネスメディア部 部長
〃	打越 康志	株式会社インターコム 取締役 開発本部長
〃	岡田 恭介	株式会社内田洋行 情報事業本部 情報エンジニアリング事業部 ソリューション営業部 部長
〃	池田 義己	株式会社大塚商会 マーケティング本部 共通基盤プロモーション部 部長
〃	多山 信幸	株式会社マイクロソフトウェア 総務部長
事務局	井上 星子	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
	小林 哲	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

アライアンスビジネス委員会の活動

「アライアンスビジネス委員会」は、IT 企業間のビジネスアライアンスの活性化を目的として、アライアンスビジネス交流会（主にベンチャー企業や中小企業にプレゼンテーションの場を提供、平成 13 年度より実施）の主催・運営を行うとともに、関連団体や地方自治体等との連携・協力、時事のテーマに基づくセミナーや統一テーマのプレゼンテーション企画などを行っています。平成 24 年度の委員会等の開催は以下の通り。

<第 1 回>

日時 平成 24 年 4 月 12 日（木）10:00～13:00（於：CSAJ 会議室）

- 議題
1. 平成 23 年度アライアンスビジネス委員会／交流会 活動報告
 2. 平成 24 年度アライアンスビジネス委員会／交流会 活動について
 3. 第 9 回 CSAJ アライアンス大賞 第一次審査

<第 2 回>

日時 平成 24 年 7 月 13 日（金）14:10～14:40（於：札幌市エレクトロニクスセンター）

- 議題
1. 一般社団法人北海道 IT 推進協会（HICTA）協力「経営者サマーセミナー in 札幌・小樽」について
 2. HICTA 交流委員会メンバーとの交流（挨拶・意見/名刺交換等）

<第 3 回>

日時 平成 24 年 11 月 9 日（金）14:00～16:00（於：CSAJ 会議室）

- 議題
1. 平成 24 年度 活動経過報告
 2. 平成 25 年度 活動計画の検討

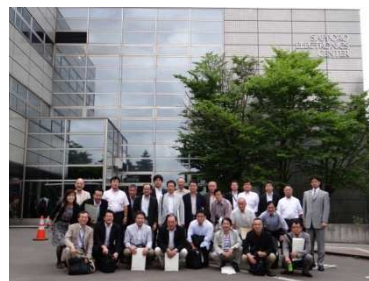
<CSAJ 経営者サマーセミナーへの協力>

企画協力 CSAJ アライアンスビジネス委員会・HICTA 交流委員会

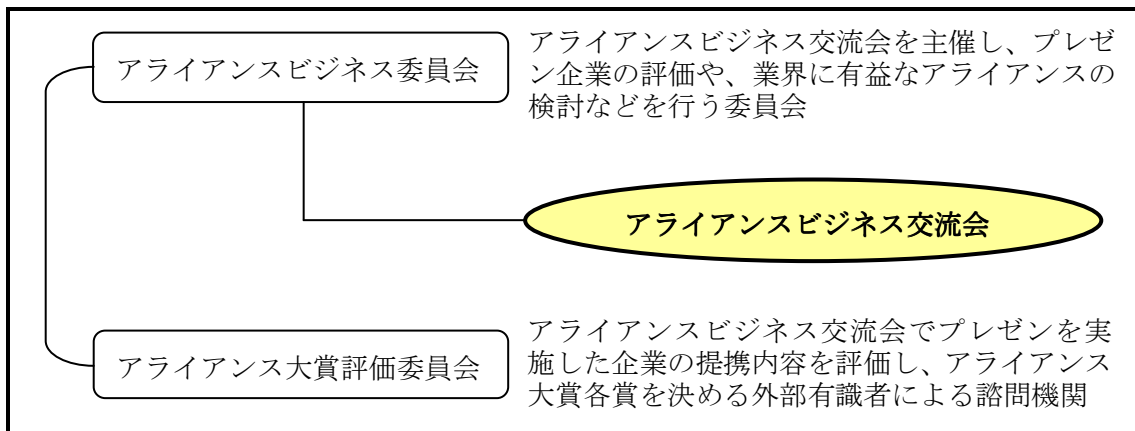
会 期 平成 24 年 7 月 12 日（木）～13 日（金）

開 催 地 北海道札幌市・小樽市

開催報告 http://www.csa-j.jp/info/12/120712_sappororepo.html

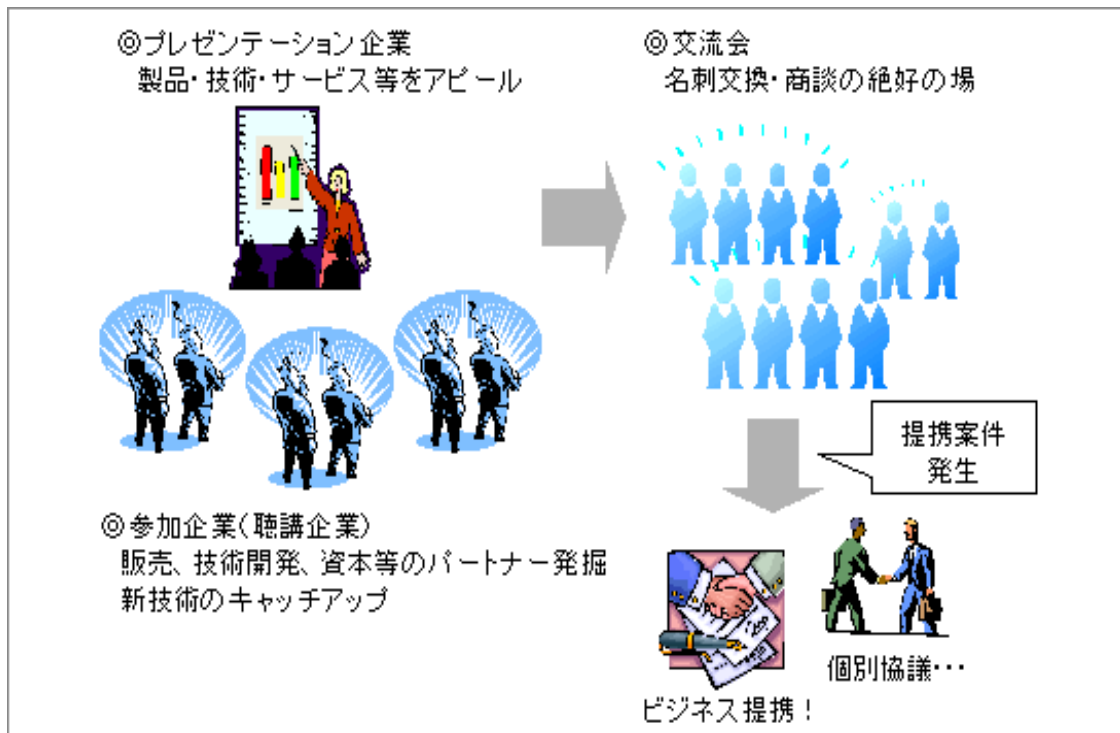


運営組織体制



アライアンスビジネス交流会とは

「アライアンスビジネス交流会」とは、IT プロダクトや関連サービスのプレゼンテーションの場を提供し、参加企業相互のビジネスマッチングや懇親を促す場を提供している交流会です。1回4社のベンチャー企業等が、自社のITプロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施し、プレゼンテーション後、参加者同士のビジネス交流／商談（懇親会）を行います。



アライアンスビジネス交流会 参加メリット

ビジネスを成功させるためにスピードは重要な要因となる時代を迎えています。スピードや効率を考慮した場合、企業にとってアライアンスは必要不可欠な戦略となりました。

◎プレゼンテーション企業にとって

- メリット 1: ビジネスパートナーを見つける機会を得られます。
- メリット 2: 自社の IT プロダクトや関連サービスを PR することができます。
- メリット 3: 参加企業と販売、技術開発、資本等の提携を結ぶ機会を得られます。
- メリット 4: アライアンス大賞各賞の対象となる機会を得られます。また、各賞を受賞することで IT プロダクトや関連サービスの認知度が上がり、企業の信用力が高まります。



◎聴講企業にとって

- メリット 1: ビジネスパートナーを見つける機会を得られます。
- メリット 2: 新規事業のためのビジネスシーズが発掘できます。
- メリット 3: ビジネスベースで開発された新しい技術をキャッチアップできます。
- メリット 4: 業種／業態の異なる様々な企業との交流を図ることで、多角的な情報収集ができます。
- メリット 5: 取締役、執行役、事業責任者など決裁権を持つ聴講者との交流により、有益な人脈形成ができます。

アライアンスビジネス交流会 当日の構成と流れ

タイムテーブル(A)	タイムテーブル(B)	プログラム
15:00～15:05	14:00～14:05	進行説明
15:05～15:55	14:05～14:55	特別講演
15:55～16:05	14:55～15:05	休憩
16:05～16:30	15:05～15:30	プレゼンテーション 1
16:30～16:55	15:30～15:55	プレゼンテーション 2
16:55～17:05	15:55～16:05	休憩
17:05～17:30	16:05～16:30	プレゼンテーション 3
17:30～17:55	16:30～16:55	プレゼンテーション 4
18:05～19:00	17:05～18:00	交流/商談 (懇親・名刺交換会)

- 特別講演
- プレゼンテーション
 - ・1 回につき 4 社が、プレゼンテーションを実施。
 - ・プレゼンテーションの時間は、1 社あたり 25 分以内。
 - ・質疑応答は懇親会の場で。
- 交流/商談 (懇親・名刺交換会)
 - ・立食形式で実施
 - ・プレゼンテーション企業と聴講企業との交流
 - ・プレゼンテーション企業間の交流
 - ・聴講企業間の交流

※4 社で実施した場合のタイムテーブル例。会場や企画により時間は異なります。

アライアンスビジネス交流会 参加資格

◎プレゼンテーション（発表者）参加資格

- IT プロダクトや関連サービスをお持ちの中小・ベンチャー企業
(β版やプロトタイプ板のITプロダクトや、受託開発(オフショア・ニアショア開発等)は除く)
※プレゼンテーション内容については、事前審査(ヒアリング)を実施。
- 参加費(プレゼンテーション、展示物設置、プレゼンター1名分含む)
CSAJ 会員: 5,000 円/非会員: 20,000 円

◇プレゼンテーション申込

以下 URL よりお申込みください。事務局よりご連絡申し上げます。なお、応募多数により事務局からお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- ・プレゼンテーション参加希望申込先

<http://www.csaj.jp/activity/ab/index.html>



◎聴講希望者参加資格

- ビジネスパートナーを模索されている企業
※新しい技術をお探しの方、新規事業をご検討の方に特に適しています。
※参加費は会員=2,000 円、会員外=3,000 円となります。
(資料代・懇親会費等含む)

- ・会場により参加費が異なる場合があります。各回開催案内よりご確認・お申し込みください。



その他、アライアンスビジネス交流会に関してご不明な点がございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

○お問い合わせ先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

事務局 TEL: 03-3560-8440 E-Mail: ab@csaj.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4 階

アライアンスビジネス交流会 平成 24 年度の開催実績

◎交流会 8 回開催

開催日	時間	会場	参加
平成 24 年 4 月 18 日 (水)	15:00～18:00	トスラブ大久保会議室	35 社 48 名
平成 24 年 5 月 16 日 (水)	16:00～19:00	トスラブ大久保会議室	27 社 40 名
平成 24 年 6 月 21 日 (木)	15:00～18:00	トスラブ山王会議室	46 社 58 名
平成 24 年 7 月 18 日 (水)	14:00～18:00	トスラブ山王会議室	35 社 50 名
平成 24 年 9 月 19 日 (水)	15:00～19:00	トスラブ大久保会議室	34 社 41 名
平成 24 年 10 月 17 日 (水)	15:00～18:00	トスラブ大久保会議室	30 社 35 名
平成 24 年 11 月 28 日 (水)	14:00～18:00	トスラブ山王会議室	54 社 72 名
平成 25 年 2 月 22 日 (水)	15:00～19:00	トスラブ大久保会議室	35 社 49 名

延べ 296 社 393 名参加

◎開催会場

会 場：関東 IT ソフトウェア健保会館 トスラブ大久保 1F 会議室
 住 所：〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-27-6
 T E L：03-5925-5333 F A X：03-5925-5325

会 場：関東 IT ソフトウェア健保会館 トスラブ山王 2F 会議室
 住 所：〒100-0014 東京都港区赤坂 2-5-6
 T E L：03-5570-1803 F A X：03-5570-1804

アライアンスビジネス交流会 特別講演 開催実績

◎特別講演企画実施：3 回

第 93 回 (平成 24 年度 第 3 回) 平成 24 年 6 月 21 日 (木) 於：トスラブ山王会議室 講演者：松永 武志 氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 係長) タイトル：経済産業省の情報施策と中小企業支援策について
第 94 回 (平成 24 年度 第 4 回) 平成 24 年 7 月 18 日 (水) 於：トスラブ大久保会議室 講演者：井上 浩 氏 (株式会社ネットワーク応用通信研究所 代表取締役) タイトル：「Ruby の現状と今後」ー現状の支援体制と利用実績から未来を占うー
第 97 回 (平成 24 年度 第 7 回) 平成 24 年 11 月 28 日 (水) 於：トスラブ山王会議室 講演者：シンフォニーマーケティング株式会社 代表取締役 庭山一郎氏 タイトル：「間違いだらけのソフトウェア・マーケティング」 ー パッケージビジネスでの戦略的マーケティングとは? ー

アライアンスビジネス交流会 他団体等との協力開催等の実績

◎他団体等との協力・合同開催 4 回

- 島根県（公益財団法人しまね産業振興財団）との協力開催
平成 24 年 07 月 18 日（水）＜第 94 回アライアンスビジネス交流会＞
- 一般社団法人北海道 IT 推進協会（HICTA）との協力開催
平成 24 年 10 月 17 日（水）＜第 96 回アライアンスビジネス交流会＞
- 一般社団法人日本ソフトウェア産業協会（NSA）との合同開催
平成 24 年 11 月 28 日（水）＜第 97 回アライアンスビジネス交流会＞
- 一般社団法人組込みシステム技術協会（JASA）との合同開催
平成 25 年 02 月 20 日（水）＜第 98 回アライアンスビジネス交流会＞

アライアンスビジネス交流会 過去の主な参加企業

(株)マイクロソフトウェア	(株)大塚商会	ピー・シー・エー(株)
キヤノンソフト情報システム(株)	(株)オービックビジネスコンサルタント	(株)リード・レックス
日本事務器(株)	シネックスインフォテック(株)	(株)内田洋行
(株)インターコム	(株)BCN	カシオ情報機器(株)
(株)ビットアイル	(株)NTTPC コミュニケーションズ	日本システム開発(株)
Sky(株)	(株)理経	(株)O S K
NEC ネットエスアイ(株)	S G システム(株)	ネクストウェア(株)
(株)システムディ	オー・エイ・エス(株)	オデッセイヒューマンシステム(株)

※その他 IT 関連企業が多数参加

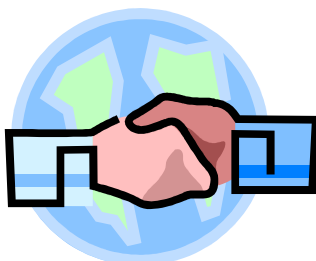
(順不同) 平成 25 年 3 月 31 日時点

アライアンスビジネス交流会 ストリーミング配信

平成 24 年度より、アライアンスビジネス交流会でのプレゼンテーションの様様をライブ配信するとともにオンデマンドでも配信しました。

※協力：株式会社グリーンキャット様

■配信ページ ⇒ <http://www.161c.jp/csaj/> ⇒



アライアンス大賞とは

「CSAJ アライアンス大賞」とは、アライアンスビジネス交流会で、自社の IT プロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施した企業（主にベンチャー企業、または中小企業）に対して、その後一定期間におけるアライアンスの実績と将来性を評価し授与するもので、その評価・実績に応じて“最優秀賞”、“優秀賞”、“奨励賞”がそれぞれ授与されます。

- ・優秀なアライアンスの実績を収めたが、中堅以上とみなされる会員企業の場合には、“特別賞”を授与することがあります。
- ・アライアンス大賞を授与された企業のアライアンスパートナー（複数の場合もある）に対して、“パートナー賞”を授与することがあります。

◎背景

我が国の経済は、市場競争の激化、グローバル化、消費者ニーズの多様化などが進展し、起業率と廃業率の逆転現象が起こっています。そのような中で、経済の活性化や新たな雇用の創出を図る上で、IT ベンチャー企業支援を積極的に行うことが望まれています。残念なことに、ベンチャー企業の育成に必要な教育・文化・社会のしくみなど、環境の未整備が否めない状況にあります。また、起業家自身にも、失敗をひとつの経験やバネにし、より大きなビジネスに賭けていく、フロンティアスピリッツが培われているとは言えません。

アライアンス大賞は、現時点におけるベンチャー企業の小さな成果や実績を踏まえ、将来の可能性を評価することにより、起業家のモチベーションを高め、市場でブレークスルーできるような日本初の企業が生まれることを願って創設されました。支援する側にも“パートナー賞”を授与することにより、更なるベンチャー育成への輪が広がり、業界発展に寄与できるものと信じています。

◎対象企業

第9回アライアンス大賞（平成24年6月発表）では、平成23年（平成23年1月～平成23年12月）に、アライアンスビジネス交流会でITプロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施した企業が対象となります。

◎選考基準

- ①プレゼンテーション後（3～6ヶ月間程度）のアライアンス状況及び実績
- ②プロダクト・サービス等の市場性（市場規模や今後の市場展望、成長の見込みなど）
- ③プロダクト・サービス等の新規性（製品の独自性・革新性・目新しさなど）
- ④プロダクト・サービス等の技術力（新しい技術への取り組み、開発能力など）

◎選考方法

①第一次審査（アライアンスビジネス委員会による審査）

プレゼンテーション後の提携内容等およびCSAJ事務局からのヒアリング結果（アライアンス実績があった、または見込まれる企業に対して当該企業へのヒアリングを実施）、アライアンスビジネス交流会聴講者からのアンケート結果などをもとに検討し、第二次選考へ進む候補企業を選考します。

②第二次選考（アライアンス大賞評価委員会による選考及び受賞企業決定）

第一次審査を通過したアライアンス大賞 各賞受賞候補企業に対して、有識者で構成される評価委員会にて選考及びヒアリングを行い、アライアンス大賞 各賞を決定します。

◎アライアンス大賞評価委員会

委員長 山名 早人 氏（早稲田大学理工学術院情報理工学科教授）

委員 藤田 憲治 氏（日経BP社 パソコン局長）

〃 西澤 民夫 氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 新事業支援部
統括プロジェクトマネージャー）

〃 武市 博明 氏（一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 常務理事）

〃 杉浦 和史 氏（杉浦技術士事務所（情報工学部門）技術士）

（第10回アライアンス大賞審査時の委員、役職等は当時のもの、順不同、敬称略）

◎アライアンス大賞発表及び表彰

CSAJ総会後のアライアンス大賞表彰式で受賞企業を発表し表彰。

◎授与品ならびに受賞特典

①表彰状及びトロフィー

②総会後の懇親パーティ会場にて展示スペースの提供

③News Releaseによる周知やCSAJ Web ページなどへの掲載

アライアンス大賞受賞企業・製品一覧

- ◇第1回 JPSA アライアンス大賞（発表：第19回通常総会／平成16年6月9日(水)）
- ・最優秀賞：該当なし
 - ・奨励賞：株式会社高速屋
100倍以上速くデータ処理ができるソフトウェアテクノロジー
 - ・奨励賞：株式会社ターボデータラボラトリー
世界最速 LFM コンピューティング技術
 - ・奨励賞：株式会社クオリティ・アンド・バリューコンサルティング
「ビジネスの知恵」を身につける Web-OJT プログラム
 - ・特別賞：株式会社ソフトクリエイト
書類がそのままブラウザの中で直感的に入力できるフォームアプリケーションサーバー
- ◇第2回 JPSA アライアンス大賞（発表：第20回通常総会／平成17年6月8日(水)）
- ・最優秀賞：red たんぽぽ有限会社
「keymowe」Web 専用動画コンテンツ作成ソリューション
 - ・奨励賞：株式会社チェプロ
「Captain Play@」Web 帳票作成、閲覧セキュリティ管理システム
 - ・奨励賞：株式会社ネットディメンション
「Matrix Engine」3D コンテンツオーサリングツール
 - ・奨励賞：株式会社ヴィバーク
「BOLERO」SQL サーバ専用データベース開発ツール
「SARASA」SQL サーバ専用業務アプリケーション構築ツール
- ◇第3回 JPSA アライアンス大賞（発表：第21回通常総会／平成18年6月14日(水)）
- ・最優秀賞：スマートワイヤレス株式会社
「Pro Facer」顔認証セキュリティソリューション
 - ・優秀賞：株式会社 Knowlbo（ナルボ）
「ワークフローEX」ワークフロー管理システム
 - ・優秀賞：フォーディーネットワークス株式会社
「Media Frame」Flash コンテンツオーサリングツール
 - ・奨励賞：ワークスコープ株式会社
「e-すまいる」障害者施設向け業務支援ソフト
 - ・パートナー賞：エヌ・ティ・ティ・インテリジェント企画開発株式会社
- ◇第4回 CSAJ アライアンス大賞（発表：第22回通常総会／平成19年6月13日(水)）
- ・最優秀賞：株式会社ハイパーテック
「Crack Proof」クラッキング防止ソフト
 - ・優秀賞：ソフトアドバンス株式会社
「prezvision」3Dプレゼンテーション用ソフトウェア
 - ・奨励賞：株式会社アズベイス
「Biz Base」中小企業向け業務支援グループウェア ASP サービス
 - ・奨励賞：イーズ・コミュニケーションズ株式会社
「影郎／セキュアポケット PC」情報漏洩対策ツール
 - ・奨励賞：株式会社ニューフォレスター
「Sports Mirror - スポーツミラー」USB 利用動画配信ツール
 - ・パートナー賞：丸紅インフォテック株式会社

- ◇第5回 CSAJ アライアンス大賞（発表：第23回通常総会／平成20年6月11日(水)）
- ・最優秀賞：トライポッドワークス株式会社
「GIGAPOD OFFICEHARD」ファイル転送サーバ
 - ・奨励賞：株式会社 ALBERT
「おまかせ！ログレコメンダー」推薦型検索エンジン
 - ・奨励賞：ビバコンピュータ株式会社
「Feel Phrase」画像検索エンジン、画像解析システム
 - ・パートナー賞：ユニファイジャパン株式会社
- ◇第6回 CSAJ アライアンス大賞（発表：第24回通常総会／平成21年6月10日(水)）
- ・最優秀賞：株式会社チェプロ
「WA0tech」Webシステム開発支援ツール
 - ・優秀賞：株式会社テラスカイ
「Sky on Demand」SaaS型データ連携ツール
 - ・奨励賞：サイバーステーション株式会社
「校内会計システム」公立幼稚園～小・中学校向け会計システム
 - ・奨励賞：株式会社ユニテック
「C4」アプリケーション開発用フレームワーク
- ◇第7回 CSAJ アライアンス大賞（発表：第25回通常総会／平成22年6月9日(水)）
- ・最優秀賞：フォーディーネットワークス株式会社
「4D DAM (Data Access Method)」高性能データベース
 - ・優秀賞：アイビーシー株式会社
「System Answer」ネットワークシステム性能管理ツール
 - ・奨励賞：ニューロネット株式会社
「SaasBoard」SNS型コラボレーション SaaS サービス
 - ・パートナー賞：株式会社日立ケーイーシステムズ
- ◇第8回 CSAJ アライアンス大賞（発表：第26回通常総会／平成23年6月8日(水)）
- ・最優秀賞：該当なし
 - ・奨励賞：モバイルシティ・ジャパン株式会社
「MapTown」双方向型コミュニケーション・サービス
 - ・特別賞：株式会社フォーラムエイト
「UC-win/Road for SaaS」SaaS型3次元リアルタイム・シミュレーションソフト
「UC-1 for SaaS」SaaS型土木設計ソフト
- ◇第9回 CSAJ アライアンス大賞（発表：第27回定時総会／平成24年6月13日(水)）
- ・最優秀賞：該当なし
 - ・優秀賞：株式会社ビットリンク
「Choice RESERVE」多業種対応クラウド型予約管理システム
 - ・奨励賞：インヴェンティット株式会社
「Mobi Connect」スマートフォン遠隔セキュリティサービス
 - ・特別賞：株式会社ハイパーテック
「CrackProof for Android」クラッキングを防止する耐タンパセキュリティソフト

第9回 CSAJ アライアンス大賞受賞企業・製品のご紹介

優 秀 賞：株式会社ビットリンク

住所：〒107-0062 東京都港区南青山1-2-6 Lattice aoyama 306

設立年月：2000年1月4日

資本金：10百万円

従業員数：22名

T E L：03-6438-1808

U R L：<http://yoyaku-package.com/>

事業内容：ネット予約システムの企画・開発・販売

・受賞製品：「ChoiceRESERVE（チョイスリザーブ）」

・受賞製品特長

多業種対応のクラウド型予約管理システム。リアルタイムで予約を成立させることができ、ユーザ側のデバイスは、PC やスマートフォン、タブレット等全てに対応。提供形態も ASP SaaS による月額課金や、初期フルカスタマイズでの ASP 提供、予約システム構築エンジンとしてのエンジン提供などあり。時間タイプ、日数タイプ、イベントタイプ、順番待ちタイプの4つのロジックにより全業種に対応。

奨 励 賞：インヴェンティット株式会社

住所：(本社) 〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町130番地42

(支社) 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-4-7

設立年月：2007年6月12日

資本金：270百万円

従業員数：23名（契約社員等含む）

T E L：03-6272-9911

U R L：<http://www.yourinventit.com/>

事業内容：M2M 遠隔制御システムの開発、販売

スマートフォン遠隔制御管理ソフトウェア&サービスの開発、販売

・受賞製品：「MobiConnect（モビコネクト）」

・受賞製品特長

スマートフォンセキュリティのためのクラウドサービス。端末紛失時に遠隔から端末ロック（利用禁止）・ワイプ（初期化）・データ削除等を行うことにより、不正利用・情報漏洩の防止が可能。遠隔から端末設定・情報取得が可能のため、効率的なスマートフォン資産管理も可能。また、複数管理者の利用制限毎の権限設定や端末グループへのセキュリティポリシーの設定といった日々の端末設定・運用管理をきめ細かくサポート。

特 別 賞：株式会社ハイパーテック

住所：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地

京都リサーチパーク (財)京都高度技術研究所ビル内

設立年月：1994 年 5 月 18 日

資本金：40 百万円

従業員数：18 名 (契約社員を含む)

T E L：075-322-1228

U R L：<http://www.hypertech.co.jp/>

事業内容：耐タンパセキュリティソフト「CrackProof」の開発と販売、オンラインゲーム保護ソフト「CrackProof ゲームエディション」の開発と販売、Android アプリ耐タンパソフト「CrackProof for Android」の開発と販売、特許チェックソフト「パテチェッカー」の開発と販売など

・受賞製品：「CrackProof for Android (クラックプルーフ フォー アンドロイド)」

・受賞製品特長

Android アプリに耐タンパ (=クラッキング対策) 処理するソフトウェア。Android アプリを違法なリバースエンジニアリングやクラッキング行為から強力に保護。プログラムを静的解析 (逆アセンブラなどを使用してプログラムをファイルレベルで解析する手法) のみならず、技術的に困難とされる動的解析 (デバッガを使用してプログラムを実行しながら解析する手法) からも強力に保護。簡単な操作 (GUI 上に APK : Android Package をドラッグ&ドロップしてボタンを押すだけ) で耐タンパ処理を完了できます。

※企業情報等は、第 9 回アライアンス大賞審査時点のもの

平成 24 年 6 月 13 日 (水) の第 27 回 CSAJ 定時総会後に発表・表彰



アライアンスビジネス交流会
プレゼンテーション企業・製品一覧

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

開催日	企業名	プレゼン製品カテゴリ/製品名
平成 24 年 4 月 18 日 (第 91 回)	株式会社インターコア	USB 型シンククライアント ・ SmartInterwork (スマートインターワーク)
	株式会社テレマークス	アンドロイドスマートフォン向けモバイル端末管理 ・ BizDefender (ビズディフェンダー)
	株式会社アール・アイ	バックアップソフト ・ 集中管理型バックアップソフト「Secure Back 3」 ・ スタンドアロン型バックアップソフト「Air Back」 ・ クラウド型バックアップサービス「Air Back クラウド」
	アテイン株式会社	指静脈認証デバイス及び SDK で開発する個人認証セキュリティソリューション ・ USB 接続指静脈認証ユニット (FVA-U2SX) ・ 指静脈認証モジュール (FVA-E2SX) ・ モフィリア SDK (MSDK-U2W1/MSDK-E2W2) ・ モフィリア・トライアル・キット (MTK-U2SX/MTK-E2SX)
平成 24 年 5 月 16 日 (第 92 回)	ワークブレイン・ジャパン株式会社	BI (ビジネスインテリジェンス) / レポート作成・出力 ・ Jaspersoft BI スイート
	株式会社システムエグゼ	テストデータ生成ツール ・ DB エース データマスキングエディション
	株式会社パラドクス	ビジネス文書作成支援ツール (MS-Word を使った文書作成を効率化するツール) ・ Paradox Word テンプレート
	マジックソフトウェア・ジャパン株式会社	ビジネスアプリケーション開発・実行プラットフォーム ・ Magic uniPaaS
平成 24 年 6 月 21 日 (第 93 回)	ニューロネット株式会社	コールセンター向けクラウド型映像音声対話コールセンター ・ 見えるコールセンター ももし Concierge (ももしコンシェルジュ)
	株式会社ダイナックス	団体/協会向け会運営支援 SaaS 型「会員管理/会員サービス」クラウドサービス ・ 「なかま」クラウド
	イーハトープ株式会社	ソーシャルネットワーク・サービス ・ おとなのネットステージ『出番!』
	フォーディーネットワークス株式会社	スマートフォン向け印刷ソリューション ・ カンタンモバイルプリント
平成 24 年 7 月 18 日 (第 94 回)	株式会社システム工房エム	スマートフォン・タブレット開発支援サービス ・ 「Ruby on スマホ PaaS」(ルビー オン スマホパース)
	株式会社バース情報科学研究所	インターネット FAX サービス ・ BIRDS FAX+ (バースファックスプラス)
	株式会社 MC セキュリティ	ネットワークセキュリティ機器 (IPS) ・ NetStable (ネットステイブル)
	株式会社アトミテック	企業向けオンラインストレージサービス ・ アトミテック オンライン ストレージ サービス (AOSS)

開催日	企業名	プレゼン製品カテゴリ／製品名
平成 24 年 9 月 19 日 (第 95 回)	ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社	企業内でのデジタルコンテンツ利用の支援システム ・NetRecorder (ネットレコーダー) シリーズ
	クリエイションライン株式会社	IaaS クラウド基盤ソフトウェアとクラウド管理ツール ・CloudStack ・enStratus ・Scalr ・Chef
	株式会社システムラボ	貿易、輸出入業向け販売・財務統合システム ・国際取引統合システム G X (ジーエックス)
	ITX 株式会社	法人向けクラウドサービス (Web 会議 / リモートツール) ・MORA Video Conference (モーラビデオカンファレンス) ・AnyClutch Remote (エニークラッチリモート)
平成 24 年 10 月 17 日 (第 96 回)	株式会社ヒューネス	Android タブレットで運用するモバイル GIS ・TapGIS (タップ ジー アイ エス)
	株式会社カイエンシステム開発	スマートフォンアプリ ・ポケットタクシーR
	株式会社サンクレエ	営業マンクラウド ・pw コンポーネント「営業マンクラウド」
	株式会社アスペックス	中小企業向け SFA (営業支援システム) ・GrooForce (グルーフォース)
平成 24 年 11 月 28 日 (第 97 回)	株式会社パートナー	アプリケーション開発 (ノンプログラミング) エンジン ・Waltz 5 (ワルツファイブ)
	アイビーシー株式会社	ネットワーク、サーバ、仮想環境の性能管理ソフトウェア製品 ・System Answer G2 (システムアンサージーツー)
	日本ディクス株式会社	シンクライアント／仮想デスクトップ ・仮想デスクトップソリューション
	株式会社デジタルコミュニケーションズ	Word 新旧文書比較ツール (『新旧対照表』作成ツール、履歴比較レポート生成ツール) ・新旧文書比較ソフト
平成 25 年 2 月 20 日 (第 98 回)	ビジネスメンター株式会社	クラウド電子印鑑サービス ・Brownie for Stamper (ブラウニー フォー スタンパー)
	エポックサイエンス株式会社	家庭・オフィス用可搬型蓄電システム ・VENUS (ビーナス)
	株式会社メディアシーク	スマートフォン向け販促ツール ・AppCMS / ICONIT アイコンマネージャー
	株式会社イーアールアイ	スマートフォンへのエリア限定情報配信端末 (屋内位置情報、広告、クーポン、観光案内等の情報配信) ・BLUETUS (ブルータス)

アライアンスビジネス交流会
平成 24 年度プレゼンテーション企業の
概要及び発表内容

第 91 回 (平成 24 年 4 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社インターコア
本 件 担 当 者：庄司公明
住 所：〒101-0051
T E L：03-5212-2239
U R L：http://www.intercore.co.jp/
設 立 年 月 日：2006年10月30日
資本金(百万円)：10百万円
従 業 員 数：4名
事 業 内 容：シンククライアント、モバイルワーク、在宅ワーク、情報セキュリティ、手書き文字自動認識などの分野での先端的製品の提供

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・ USB型シンククライアント

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・ Smart Interwork (スマートインターワーク)

●プレゼンテーションテーマ

- ・ ハイパフォーマンス「USBシンククライアント」のご紹介

●プレゼンテーション概要

- ・ 世界中「どこでもオフィス」この1本さえ携帯すれば PCは借りものでもOK
特長は 簡単利用・簡単導入、高性能、安心・高セキュリティ、圧倒的な低コスト

●プレゼンテーションの目的

{ 1 } { 2 } { } { }
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

<提携の具体的な内容>

- ・ 販売代理店募集

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ 販売代理店 (システムインテグレータ)
品揃えの充実、既存顧客向け商材の充実、余剰SE・CEの活用などによる売上げアップ
- ・ 顧客紹介代理店 完全成果報酬型の代理店手数料

第 91 回 (平成 24 年 4 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社テレマークス
本 件 担 当 者：小宮山泰
住 所：〒113-0033 東京都文京区本郷 3-2-2
 リベールお茶の水渡邊ビル 3F
T E L：03-6801-5193
U R L：http://www.telemarks.co.jp
設 立 年 月 日：2009年4月30日
資本金(百万円)：2百万円
従 業 員 数：5名
事 業 内 容：Androidソフトウェア企画・設計・開発・コンサルティング

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・アンドロイドスマートフォン向けモバイル端末管理
 - プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・BizDefender(ビズディフェンダー)
 - プレゼンテーションテーマ
 - ・ビズディフェンダーのご紹介
 - プレゼンテーション概要
 - ・ビズディフェンダーは社員のスマートフォンを様々なセキュリティリスクから守るモバイル端末管理ツールです。パスワードポリシーの設定やアプリケーションやWebサイトの制限が可能で、さらに緊急時の安否確認と導入時のキッティングにも対応しています。中小企業が導入しやすいよう、広告収益で運営する無料版もあり、初めてスマートフォンを導入する企業に最適なサービスです。
 - プレゼンテーションの目的

[1]	[2]	[4]	[3]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・販売パートナーの募集
 - ・技術提携先の募集
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・スマートフォンの企業導入に欠かせないモバイル端末管理(MDM)を低コストで導入できます。さらに導入先企業に合わせた各種カスタマイズのベースとして利用いただくことが可能です。
 - ・モバイル端末管理の他にアプリ配信プラットフォームとしての利用や、各種アプリサービス、セキュリティサービスとの連携のベースとしてお使いいただくことが可能です。
 - ・既存客への提供システム(ソフト)の機能追加オプションにてアップセル

第 91 回 (平成 24 年 4 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社アール・アイ
本 件 担 当 者：代表取締役 小川 敦
住 所：〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 神田木原ビル
T E L：03-6853-7800
U R L：http://www.ri-ir.co.jp
設 立 年 月 日：2005年3月1日
資本金(百万円)：465百万円
従 業 員 数：15名
事 業 内 容：バックアップソフトウェアの開発・販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・バックアップソフト

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・集中管理型バックアップソフト「Secure Back 3」(セキュアバックスリー)
- ・スタンドアロン型バックアップソフト「Air Back」(エアバック)
- ・クラウド型バックアップサービス「Air Back クラウド」(エアバック クラウド)

●プレゼンテーションテーマ

- ・クライアント1台からBCP対策まで様々なニーズに応えるバックアップソリューション

●プレゼンテーション概要

- ・ファイルの変化を検知し、リアルタイムにバックアップするアール・アイのバックアップソフトは、非常にユニークな製品なうえ、導入企業も1,000社を超えております。この度はリリース直前のクラウド型バックアップサービスも含め、アール・アイのバックアップ製品群のご紹介をさせていただきます。

●プレゼンテーションの目的

- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| [1] | [2] | [] | [] |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- <提携の具体的な内容>
- ・販売代理店・取次店募集、開発パートナー募集

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・アール・アイは非常に稀な純国産のバックアップソフトメーカーです。純粋なライセンス販売以外にもニーズに合わせたカスタマイズやOEM提供なども可能です。クラウド・BCP・ビッグデータなど時代の潮流からも切り離せない「バックアップ」というカテゴリーを新たな切り口で強化することが可能です。また、iOSやAndroid対応を既存販社や顧客から要望されており、新しい開発パートナーとして協業することが可能です。

第 91 回 (平成 24 年 4 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名 : アテイン株式会社
本 件 担 当 者 : 白石 昇
住 所 : 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-19-8 酒井ビル
T E L : 03-3255-4721
U R L : <http://www.attainj.co.jp/>
設 立 年 月 日 : 1992年4月9日
資本金(百万円) : 114,700,000円
従 業 員 数 : 25名
事 業 内 容 : 周辺機器販売/システム開発/指静脈認証関連システム開発/オープンソースなどの開発支援/eラーニングサイト(動学.tv)運営

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- 指静脈認証デバイス及び SDK (ソフトウェア開発キット) で開発する個人認証セキュリティソリューション。

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- USB 接続指静脈認証ユニット (FVA-U2SX)
- 指静脈認証モジュール (FVA-E2SX)
- モフィリア SDK (MSDK-U2W1/MSDK-E2W2)
- モフィリア・トライアル・キット (MTK-U2SX/MTK-E2SX)

●プレゼンテーションテーマ

- 簡単・安心。先端の指静脈認証技術であらゆる分野のセキュリティソリューション(本人確認、なりすまし防止)に対応する。

●プレゼンテーション概要

- 応用分野(入退室、金融、情報セキュリティ、eラーニング、メディカル他)
- 「mofiria」指静脈認証技術の優位性
- 登録及び認証操作性能を体験確認する「モフィリア・トライアル・キット」デモ
- SDK で開発されたソリューションデモ

●プレゼンテーションの目的

[2] [1] [3] [4]
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

<提携の具体的な内容>

- 指静脈認証ソリューションの開発・販売のビジネスパートナー募集。

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- 今回、5社限定で SDK を無料貸与。及び技術サポート。
- 開発されたソリューションの販売及びエンドユーザサポート(コールセンター機能)あるいは販売支援(案件紹介、広告宣伝)を行います。

第 92 回 (平成 24 年 5 月 16 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：ワークブレイン・ジャパン株式会社
本 件 担 当 者：江端 俊昭
住 所：〒107-0052 東京都港区赤坂 2-12-21 ディアシティ赤坂西館 306
T E L：03-6277-6685
U R L：<http://jaspersoft.biz/>
設 立 年 月 日：1994 年 4 月 22 日
資 本 金 (百 万 円)：10 百 万 円
従 業 員 数：9 名
事 業 内 容：オープンソースベースのビジネスソフトウェアの輸出入及び販売、
教育、保守事業並びにコンサルティング業務

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・ BI (ビジネスインテリジェンス) / レポート作成・出力
- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・ Jaspersoft BI スイート
- **プレゼンテーション発表テーマ**
 - ・ ビジネスインテリジェンス (BI) Jasper Report Server のビジネスアプリケーションパッケージへの組み込み導入事例と ISV 向けのビジネスプログラムのご紹介
- **プレゼンテーション製品の概要 (特徴)**
 - ・ Web アプリケーションにレポート作成、ダッシュボード、分析、データ統合のサービスの組み込みを容易かつ低コストで可能にする BI スイート
- **プレゼンテーションの目的**

[2]	[1]	[3]	[4]
販売提携	技術提携	資本提携	その他

<提携の具体的な内容>

 - ・ OEM 提供先としてのビジネスパッケージベンダーの開拓
- **アライアンス対象の相手企業のメリット**
 - ・ 自社アプリケーションに対して帳票作成/出力、分析機能が容易に強化・追加できる
 - ・ Web/タブレットを利用したレポート出力及びクラウドサービスによる対応が容易
 - ・ アライアンス先のビジネスモデルに応じた柔軟なライセンス形態

第 92 回（平成 24 年 5 月 16 日実施）

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社システムエグゼ
本 件 担 当 者：大野 浩
住 所：〒104-0033 東京都中央区新川2-1-5 THE WALL 6階
T E L：03-5542-5591
U R L：<http://www.system-exe.co.jp>
設 立 年 月 日：1998年2月4日
資本金(百万円)：230百万円
従 業 員 数：480名（社員 330名、契約社員・パートナー社員 150名）
事 業 内 容：システムインテグレーション事業（特定業務・特定分野）、
パッケージ事業

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・テストデータ生成ツール
- プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・DB エース データマスキングエディション
- プレゼンテーションテーマ
 - ・テストデータ作成に関する課題を解決
「DB エース データマスキングエディション」のご紹介
- プレゼンテーション概要
 - ・高精度なテストデータを簡単操作で生成する
「DB エース データマスキングエディション」の製品説明（デモ含む）
- プレゼンテーションの目的

〔 1 〕	〔 2 〕	〔 〕	〔 〕
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・弊社製品の販売パートナーの募集
 - ・アライアンス企業製品（サービス）導入時の“付加価値”として弊社製品を提案可能
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・弊社製品取り扱いにより営業機会及び売上、利益の拡大

第 92 回 (平成 24 年 5 月 16 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社パラドクス
本 件 担 当 者：大西龍也
住 所：〒155-0033 東京都世田谷区代田6-1-28白洋ビル 3F
T E L：03-6323-3646
U R L：<http://www.paradox55.com/>
設 立 年 月 日：1990年5月
資本金(百万円)：10百万円
従 業 員 数：5名
事 業 内 容：マニュアル制作、マニュアル等作成支援

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・ビジネス文書作成支援ツール MS-Word を使った文書作成を効率化するツール。
- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・Paradox Word テンプレート
- **プレゼンテーション発表テーマ**
 - ・ビジネス文書作成支援ツールの紹介
ビジネス文書作成支援ツール：長年に渡る弊社のマニュアル制作現場から生まれた、制作ツール「Word テンプレート」。
- **プレゼンテーション概要**
 - ・操作マニュアル、仕様書、企画書、報告書、保険等の定款など、企業内の長文文書作成の生産性を大幅に向上させます。また、書式の統一により、容易に複数文書の統合が可能となり、文書の再利用性が大幅に向上します。
 - ・文書パーツを積木のように組み上げるだけで、誰でもきれいにレイアウトされた文書が作成できます。
- **プレゼンテーションの目的**

[1]	[2]	[]	[3]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 提携の具体的な内容 >

 - ・Word テンプレートの開発およびカスタマイズ
 - ・企業内作成ドキュメントのフォーマット統一の提案
- **アライアンス対象の相手企業のメリット**
 - ・文書作成時、レイアウトに要する時間がほぼなくなるにより、文書執筆効率が格段にアップし、生産性向上に大きく貢献します。
 - ・カスタマイズすることが可能なので、クライアントのご利用環境に応じた仕様を提供します。また文書制作や編集に関するノウハウやWord のマクロ開発に関する知識を提供します。
 - ・デザインは書籍専門のデザイナーによるものです。文書を洗練されたデザインで統一することで、企業のイメージ向上に大きく貢献します。

第 92 回 (平成 24 年 5 月 16 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
本 件 担 当 者：渡辺 剛
住 所：〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3 -14F
T E L：03-5365-1600
U R L：<http://www.magicsoftware.com/jp/>
設 立 年 月 日：1998年1月30日
資本金(百万円)：100百万円
従 業 員 数：40
事 業 内 容：アプリケーションプラットフォーム「Magic uniPaaS」およびシステム連携ソリューション「Magic jBOLT」の仕入/製造、販売業務

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・ビジネスアプリケーション開発・実行プラットフォーム
- プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・ Magic uniPaaS (マジックユニパース)
- プレゼンテーションテーマ
 - ・ワンソースでマルチデバイス対応を実現する開発プラットフォームのご紹介
- プレゼンテーション概要
 - ・PC向けに開発されたビジネスアプリケーションをベースに、ワンソースで iPhone や Android タブレット対応を可能にする「魔法のツール」 Magic uniPaaS をご紹介いたします。一度開発したアプリケーション資産を有効に活用・展開できるため、PC 用、スマートデバイス用、クラウド用と、デバイスや用途毎にアプリケーションを作り分ける労力とコストを削減します。
- プレゼンテーションの目的

[2]	[1]	[4]	[3]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 1. システム開発ツールとして、Magic uniPaaS をご採用いただくこと。
 2. 弊社パートナー様が開発したパッケージソフトやクラウドサービスを通じた、パートナー間の協業ビジネス
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・開発環境として uniPaaS をご採用いただくことにより、クラウドビジネスやスマートデバイスソリューションを、最小限のコストと労力で、早くスタートできます。非常にメンテナンス性が高いため、ユーザーのフィードバックや環境変化に対応して、常に進化し、長くご利用いただけるシステムをユーザーに提供できます

第 93 回 (平成 24 年 6 月 21 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：ニューロネット株式会社
本 件 担 当 者：代表取締役 前川博文
住 所：〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5 - 1 - 6 台益ナルセビル 2F
T E L：03-3202-2992
U R L：http://www.neuronet.co.jp
設 立 年 月 日：2002年3月28日
資本金(百万円)：10
従 業 員 数：7名
事 業 内 容：インターネットによるWeb会議サービスの提供

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・コールセンター向けクラウド型映像音声対話コールセンター
- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・見えるコールセンター もしもし Concierge (もしもしコンシェルジュ)
- **プレゼンテーションテーマ**
 - ・映像と音声でつながるクラウド型コールセンター もしもし Concierge (もしもしコンシェルジュ)
- **プレゼンテーション概要**
 - ・従来の顔の見えない電話型のコールセンターに対し、映像と音声でコミュニケーションできるコールセンターサービスをクラウド型で提供する。利用者はスマートフォンでセンターオペレータを呼び出し、表情を見ながら会話を行う。適用業務として通訳サービス、受付サービス、窓口相談、などの Face to Face の温もりを持つ新しいビジネス形態を提供できる。
- **プレゼンテーションの目的**

〔 1 〕	〔 2 〕	〔 〕	〔 〕
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・本サービスもしもし Concierge の販売代理店との提携
 - ・本サービスもしもし Concierge を使った新しいビジネスを志向する企業との提携
 - ・本サービスもしもし Concierge に付加価値をつける製品やサービスを持つ企業との提携
- **アライアンス対象の相手企業のメリット**
 - ・もしもし Concierge の販売代理店となることによる、新たな事業単位を持つことができ売り上げ増が期待できます。
 - ・もしもし Concierge を使った、世の中に無い新しい事業を起こすことができます。
 - ・もしもし Concierge に付加価値をつける製品やサービスと組み合わせることにより、既存顧客への新製品/新サービス提供や新たなお市場を開拓することができます。

第 93 回 (平成 24 年 6 月 21 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社ダイナックス
本 件 担 当 者：佐藤 正人
住 所：〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-12-12
T E L：03-5488-7030
U R L：www.dynax.co.jp
設 立 年 月 日：1977年10月
資本金(百万円)：5000万円
従 業 員 数：19名
事 業 内 容：ソフトウェア開発/クラウド アプリケーション サービス

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・団体/協会向け会運営支援 SaaS 型「会員管理/会員サービス」クラウドサービス

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・「なかま」クラウド

●プレゼンテーションテーマ

- ・会運営の効率化と会員サービス向上を実現させる、新しい仕組み紹介とビジネス連携

●プレゼンテーション概要

- ・多くの協会・団体が抱えている“運営経費節減・会員拡大”の悩みから、容易にできる“会員に喜ばれるサービス作り”の仕掛け方法をご紹介。更に一步先を行く会員・団体間連携機能による新たなビジネスの可能性のご紹介
- ・「なかま」クラウドが提供する「会員管理」「会費請求」「通知連絡」「イベント管理」「参加回答」、「アンケート」などから特徴的な機能のご紹介。具体的なユーザ事例のご紹介。

●プレゼンテーションの目的

- | | | | |
|-------|------|------|-------|
| [1] | [] | [] | [] |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- <提携の具体的な内容>
- ・販売代理店を募集します。

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ニーズが有りながらあまり注力されていない市場への新規参入が容易です。
- ・ユーザニーズ（経費節減や会員サービスの充実）の増大に容易に対応できる、競合製品・サービスが少ないため、営業展開が優位になります。
- ・販売に必要な専門的な知識も 2 日間の研修で習得可能で、新規プロジェクト（クラウド営業等）の取扱商品や新入社員・配置転換人材の営業 OJT としても最適。人材活用に幅ができると同時に、新たな顧客発掘の機会に役立ちます。

第 93 回 (平成 24 年 6 月 21 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：イーハトーブ株式会社
本 件 担 当 者：代表取締役 関 雅行
住 所：〒155-0033 世田谷区代田 5 - 3 5 - 2 6
T E L：03-3413-8816
U R L：debang.jp
設 立 年 月 日：2007年10月
資本金(百万円)：5,000万円
従 業 員 数：9名
事 業 内 容：Web開発・運営

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・ソーシャルネットワーク・サービス
- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・おとなのネットステージ『出番!』
- **プレゼンテーションテーマ**
 - ・ポータルサイトへのアプリのご提供、顧客管理システムのご提供いただける企業の発掘
- **プレゼンテーション概要**
 - ・mixi、facebook が普及している中、本来生活環境の節目でそれらのサービスを必要とする中高年の参加が少ない。そこで中高年のリテラシーにあった独自性のサービス提供。
 - 中高年が持つ知識や経験、技術を簡単にネット上で具現化し、それを介して新しい出会いを作りだしたり、後世に伝える場の提供
- **プレゼンテーションの目的**

{ }	{ 1 }	{ 2 }	{ 3 }
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携
- **アライアンス対象の相手企業のメリット**
 - ・まだ未開拓の中高年市場の発掘

第 93 回 (平成 24 年 6 月 21 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：フォーディーネットワークス株式会社
本 件 担 当 者：山本哲男
住 所：〒108-0074
T E L：03-5798-0012
U R L：www.4dn.co.jp
設 立 年 月 日：2000/04/04
資 本 金 (百 万 円)：237
従 業 員 数：13
事 業 内 容：パッケージソフトウェアの開発・販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・スマートフォン向け印刷ソリューション

- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・カンタンモバイルプリント

- **プレゼンテーションテーマ**
 - ・スマートフォンでのオフィス文書などの正確な印刷

- **プレゼンテーション概要**
 - ・スマートフォンのビジネスへの利用が進展していますが、ビジネスには不可欠な印刷環境では、まだ不十分なところがあります。本製品はその課題を解決しスマートフォンのビジネス利用の普及促進を図りたいと思います。

- **プレゼンテーションの目的**

[1]	[2]	[]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・スマートフォン導入を考えられている場合は印刷機能を本製品でご検討頂きたいと思っています。

- **アライアンス対象の相手企業のメリット**
 - ・スマートフォン応用分野の拡大

第 94 回 (平成 24 年 7 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社 システム工房エム
本 件 担 当 者：古山 純子
住 所：〒690-0017 島根県松江市西津田三丁目 2 番 3 号
T E L：0852-23-8590
U R L：http://www.kouboum.co.jp/
設 立 年 月 日：昭和62年5月
資本金(百万円)：3000万円
従 業 員 数：11名
事 業 内 容：Ruby/RoR/JRuby開発、Webアプリケーション開発、スマートフォン
開発、ホームページ管理システム（島根県CMS）の提供、業務シ
ステム開発

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・スマートフォン・タブレット開発支援サービス

- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・「Ruby on スマホ PaaS」(ルビー オン スマホパース)

- **プレゼンテーションテーマ**
 - ・「Ruby on スマホ PaaS」のご紹介

- **プレゼンテーション概要**

「Ruby on スマホ PaaS」は、スマホ開発に必要な技術・情報を提供し、お客様の必要に応じて教育やサポート、開発支援などを行うサービスです。

- **プレゼンテーションの目的**

[2]	[1]	[]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

- <提携の具体的な内容>
 - ・開発パートナー募集
 - ・販売代理店

- **アライアンス対象の相手企業のメリット**

弊社では以下の様なメリットが提供できます。

 - ・業務向けシステム開発の手法
 - ・Web アプリケーション技術があれば開発できるスマホ開発の手法
 - ・生産性の高いアプリケーション開発
 - ・継続性のあるスマホアプリ開発
 - ・互いの得意分野を活かした共同開発

第 94 回 (平成 24 年 7 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社バード情報科学研究所
本 件 担 当 者：営業本部 ES営業部 部長 佐々木 邦之
住 所：〒102-0093 東京都千代田区平河町1-6-15 (U S ビル)
T E L：03-3565-7044
U R L：http://www.birds.co.jp
設 立 年 月 日：1982年 1月
資本金(百万円)：288 百万円
従 業 員 数：211名
事 業 内 容：(1) 経営管理システム開発の総合コンサルティング (基本構想の設計から機種選定・開発・運営指導・人材育成まで)
(2) ビジネスシステム向ソフトウェアの開発
(3) ネットワーク (グループウェア) システムの開発
(4) FAX-OCRデータエントリーサービス
(5) アウトソーシングサービス

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

・インターネット FAX サービス

●プレゼンテーションする製品・サービス名

・BIRDS FAX+ (バードファックスプラス)

●プレゼンテーションテーマ

・当社の新しい FAX サービスのご紹介

●プレゼンテーション概要

・Web 環境があればどこからでも利用できる新しい FAX サービスのご紹介です。
送受信だけでなく発信元ごとにイメージ自動振り分け・画像加工・処理ステータス登録など FAX に関わるあらゆる作業を、複数の人間が同時に行うことが可能なサービスです。ASP 形式でご利用いただきますので、ユーザー側で特別な機器や回線の導入は不要です。

●プレゼンテーションの目的

[1] [] [] []
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

<提携の具体的な内容>

・当社 FAX サービスとの連携もしくは利用を想定した製品・サービス提案が可能な企業とのアライアンスを希望しています。

●アライアンス対象の相手企業のメリット

・特約店契約による手数料をお支払い
・代理店契約による仕切り価格でのサービス提供
・当社サービスを自社の製品・サービスに組み込むことによる他社との提案差別化や競争力向上など

第 94 回 (平成 24 年 7 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社MCセキュリティ
本 件 担 当 者：宮脇 大祐
住 所：〒690-0816
T E L：0852-31-9001
U R L：www.mcsecurity.co.jp
設 立 年 月 日：2006年2月10日
資本金(百万円)：4,000万円
従 業 員 数：9名
事 業 内 容：ネットワークセキュリティ製品の開発および販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・ ネットワークセキュリティ機器(IPS)
- プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・ NetStable (ネットステイブル)
- プレゼンテーションテーマ
 - ・ NetStable のご紹介
- プレゼンテーション概要
 - ・ ウイルス対策ソフトやファイアウォールでは防ぎきれない最新の脅威の解説と、NetStable による対策方法をわかりやすくご説明いたします。
- プレゼンテーションの目的
 - [1] [] [] []
 - 販売提携 技術提携 資本提携 その他提携
 - <提携の具体的な内容>
 - ・ 販売代理店募集
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・ 通信の可視化により NetStable だけでなく、コンテンツフィルタや資産管理など他ソリューションなど併せて成約された事例があります。同様のセット提案が期待されます。

第 94 回 (平成 24 年 7 月 18 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社アトミテック
本 件 担 当 者：中西康貴
住 所：〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
T E L：050-3775-7632
U R L：http://atomitech.jp/
設 立 年 月 日：2004年07月01日
資本金(百万円)：13.1百万円
従 業 員 数：18名
事 業 内 容：運用保守・サポート、システム開発、ソフトウェア開発

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・企業向けオンラインストレージサービス

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・アトミテック オンライン ストレージ サービス (AOSS)

●プレゼンテーションテーマ

- ・企業での利用を想定したオンラインストレージサービスについて

●プレゼンテーション概要

・主に個人利用をターゲットとしたオンラインストレージサービスは数多くありますが、複数メンバー、複数拠点での利用を想定した企業向けオンラインストレージサービスをご紹介します。AOSS は非常に手軽に企業向けオンラインストレージサービスを実現するものであり、ローカルファイルを扱うのと同じ感覚で活用することができます。

●プレゼンテーションの目的

- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| { 1 } | { 2 } | { } | { } |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- <提携の具体的な内容>
- ・販売代理店募集

●アライアンス対象の相手企業のメリット

・これから注目度がますます高まっているクラウドビジネスの一つとして本サービスをお客様にご提供頂くことが可能であり、既存顧客への新しいサービスのご提案のみならず新規分野における新たな顧客開拓により売り上げの向上を期待できます。

第95回（平成24年9月19日実施）

プレゼンテーション企業会社概要

会社名：ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社
本件担当者：代表取締役 山崎 健一
住所：〒162-0845 東京都新宿区市ヶ谷本村町2-5 AD市ヶ谷ビル3F
TEL：03-3235-0905
URL：http://www.netrecorder.jp
設立年月日：平成17年9月7日
資本金(百万円)：20百万円
従業員数：10名
事業内容：ナレッジシステム「NetRecorder」開発・販売・クラウドサービスの提供システム受託開発、コンテンツ作成、IT技術研修

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・企業内でのデジタルコンテンツ利用の支援システム
- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・NetRecorder（ネットレコーダー）シリーズ
- **プレゼンテーションテーマ**
 - ・企業内でのデジタルコンテンツ利用がもたらす業務効率化
- **プレゼンテーション概要**
 - ・企業内のデジタルコンテンツ利用におけるワークフロー（素材・編集・配信・効果測定・管理）をワンストップで実現するシステムのご紹介
- **プレゼンテーションの目的**

[1]	[2]	[4]	[3]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・販売代理店募集
 - ・開発パートナー募集
- **アライアンス対象の相手企業のメリット**
 - ・新規マーケット開拓用ツール
3 スクリーン（PC・タブレット端末・スマートフォン）対応のデジタルコンテンツ利用は、マーケットが広く特定の業界・業態・業務に縛られません。取引先情報システム部門にとどまらず、製造・営業・サービス等各部門へのアプローチやシステム提案が可能になります。
 - ・カスタマイズ可能
各ご販売店が顧客からの要望に合わせコンテンツの表示方法や管理画面等をカスタマイズできるよう一部技術情報を開示します。他、既存システムとの連携などを含み技術サポート致しますので単なる取次や物販ではなくシステム開発部分での売上増が見込めます。

第 95 回 (平成 24 年 9 月 19 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：クリエーションライン株式会社
本 件 担 当 者：営業部 近藤 和成
住 所：〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-6 M's WORKS BLDG
T E L：03-5829-8355
U R L：http://www.creationline.com
設 立 年 月 日：2006年1月
資本金(百万円)：1,000万円
従 業 員 数：30名
事 業 内 容：クラウドインテグレーション事業・WEBサービス事業・CLlab事業
(研究／調査事業)

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・ IaaS クラウド基盤ソフトウェアとクラウド管理ツール
 - プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・ CloudStack ・ enStratus ・ Scalr ・ Chef
 - プレゼンテーションテーマ
 - ・ クラウドフェデレーションの最新動向と課題～ クラウド間連携の技術と展望 ～
 - プレゼンテーション概要
 - ・ クラウド構築が急務になりつつある昨今、クラウドをさらに活用するためにクラウドをどのように管理していけるのか、また、していかなければならないのか。最新の動向を把握できます。
 - プレゼンテーションの目的

[1]	[]	[]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 提携の具体的な内容 >

 - ・ ライセンス販売
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・ 売上向上

第 95 回 (平成 24 年 9 月 19 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社システムラボ
本 件 担 当 者：営業部 川真田 敏明
住 所：〒167-0043 東京都杉並区上荻 1-5-8 直長ビル 7 F
T E L：03-5397-7511
U R L：http://www.systemlab.co.jp
設 立 年 月 日：1982年7月
資本金(百万円)：10百万円
従 業 員 数：15名
事 業 内 容：業務ソフト並びに通信ソフトを中心としたパッケージソフトの企画
・開発・販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・貿易、輸出入業向け販売・財務統合システム
- プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・国際取引統合システムGX (ジーエックス)
- プレゼンテーションテーマ
 - ・多通貨対応の統合業務システムのご紹介
- プレゼンテーション概要
 - ・船積書類・LC 管理など貿易業務に必要な処理を網羅しています。さらに外貨での販売処理と会計処理に対応しており、それぞれの業務取引から仕訳を逐一起こし、常に販売と会計でデータを同期させているため、リアルタイムに財務状況を把握できます。
- プレゼンテーションの目的

[1]	[]	[]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・販売代理店を募集いたします
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・弊社とアライアンスを組むことで貿易業務や外貨対応などのシステム要件に対して、提案することができサービスの付加価値を増すことができます。

第95回（平成24年9月19日実施）

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：ITX株式会社
本 件 担 当 者：事業企画推進部 ネットワークソリューショングループ 新井麻奈
住 所：〒105-7424 東京都港区東新橋1丁目6番1号 日本テレビタワー 24階
T E L：03-3574-3730
U R L：http://www.itx-corp.co.jp/
設 立 年 月 日：1986年5月16日
資本金(百万円)：254億 43百万円
従 業 員 数：905名（2012年 3月31日現在）
事 業 内 容：テレコム事業を中心とした情報通信サービス事業

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・法人向けクラウドサービス(Web会議 / リモートツール)
- プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・MORA Video Conference(モーラビデオカンファレンス) / AnyClutch Remote (エニークラッチリモート)
- プレゼンテーションテーマ
 - ・タブレット・スマホ、ビジネスでどう活用する？
～Web会議・リモートツールで、外出中の業務を安全に効率化！～
- プレゼンテーション概要
 - ・タブレット・スマートフォンなどのスマートデバイス、Web会議、リモートツールの連携で、外出中の役員や営業が、タブレットなどから決済やメール、グループウェアの確認、そして、遠隔で会議へ参加でき、帰社出社が困難な災害時や停電などの緊急時であっても、事業活動を継続できるソリューションをご紹介します。
- プレゼンテーションの目的
 - [1] [-] [-] [-]
 - 販売提携 技術提携 資本提携 その他提携
 - <提携の具体的な内容>
 - ・Web会議及びリモートツールの販売代理店募集
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・お取次いただいたお客様がご利用いただきましたら手数料をお支払いいたします。
 - ・法人向けスマートデバイス関連ビジネスを低リスクで始めていただくことができます。

第 96 回 (平成 24 年 10 月 17 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社 ヒューネス(HICTA会員)
本 件 担 当 者：沖 観行
住 所：〒001-0013 札幌市北区北13条西4丁目1番28号
T E L：011-746-6665
U R L：http://www.hunes.co.jp/
設 立 年 月 日：1991年4月
資本金(百万円)：15百万円
従 業 員 数：12名
事 業 内 容：地方自治体向け統合型GISの開発・販売、それに伴う地理空間情報構築。また、モバイルGIS製品「TapGIS」の開発・販売・専用システムへのカスタマイズ。

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・Android タブレットで運用するモバイル GIS
 - プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・TapGIS (タップ ジー アイ エス)
 - プレゼンテーションテーマ
 - ・高精度位置情報と地理空間情報利用による現地作業の効率化と情報共有
 - プレゼンテーション概要
 - ・今後、整備される準天頂衛星 (GPS) を想定したモバイル GIS で標準化フォーマットによる情報流通が可能です。特に広域のインフラ管理、ナビゲーション、現地情報の取得などに最適です。
 - プレゼンテーションの目的

[1]	[2]	[]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・クラウド地図基盤とモバイルデバイスによる情報流通に関して販売提携、技術提携
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・近年、多くの社会インフラが更新期にはいり、的確なメンテナンスや有事の時の即時対応など現地作業の高度化、効率化が求められます。そうした管理システムの現地対応デバイスとしての利便性、作業効率の向上などは、大きな市場が見込まれます。この分野での独自 GIS エンジン開発技術は、多様なシステムとの連携が可能でライセンスに縛られないコストパフォーマンスを実現します。

第 96 回 (平成 24 年 10 月 17 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社カイエンシステム開発
本 件 担 当 者：金子 一彦
住 所：〒151-0072
T E L：03-5333-5586
U R L：http://www.caien.co.jp/
設 立 年 月 日：平成3年8月1
資本金(百万円)：63百万円
従 業 員 数：16名
事 業 内 容：1) ソフトウェアパッケージの開発販売
顧客管理・営業支援システム「BizMagic顧客」
ITプロジェクト管理システム「BizMagicワークス」
ExcelアドインRDB検索ツール「SQLMaker」
2) Webシステム、スマホアプリの受託開発
3) IT技術者の常駐派遣

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・スマートフォンアプリ
 - プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・ポケットタクシー®
 - プレゼンテーションテーマ
 - ・タクシー無線を使わず、スマホでタクシー運転手を選んで乗る時代の始まり
 - プレゼンテーション概要
 - ・スマホを利用して、タクシーに乗りたい時に、乗りたい場所で、乗りたい運転手を選んで乗れる。
 - 乗客が運転手を接客態度、安全運転度で五段階評価、目的地まで快適に連れて行ってくれるレベルの高い運転手を選べる仕組みです。
 - 運転手は自分自身の接客態度、安全運転度のレベルを高めることで、選ばれ実車率の向上、売上の向上が期待できる。
 - 乗客、運転手双方に満足に行く日本初のサービスです。
 - プレゼンテーションの目的

[2]	[3]	[1]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・資金調達先募集、販売代理店募集
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・タクシー無線が2016年までにアナログからデジタルに移行しないといけない。
 - 莫大な設備投資が必要なデジタル化に躊躇する中小のタクシー会社(東京23区以外)が、無線用アナログ車載機をスマホに代えることによる大量のスマホの販売が見込める。

第 96 回 (平成 24 年 10 月 17 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社サンクレエ (HICTA 会員)
本 件 担 当 者：代表取締役社長 森 正人
住 所：〒060-0012
T E L：011-611-6364
U R L：011-621-5746
設 立 年 月 日：1898年9月
資本金(百万円)：10百万円
従 業 員 数：22名
事 業 内 容：パッケージシステム開発・販売・サポート、システム受託開発、
消耗品等の販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・ 営業マンクラウド
 - プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・ pw コンポーネント「営業マンクラウド」
 - プレゼンテーションテーマ
 - ・ スマートフォンを活用した基幹システム連携
 - プレゼンテーション概要
 - ・ 営業担当者の人数が多い企業様におすすめ！
 - ・ 外注先から取引履歴や在庫確認ができます。
 - プレゼンテーションの目的

[1]	[2]	[4]	[3]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

< 提携の具体的な内容 >

 - ・ 他社製基幹システムとの連動など
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・ 業種を問わずターゲットの範囲が非常に広く、手軽に実際のデモを行う事が出来ますので新規開拓のツールとしても活用出来ます。

第 96 回 (平成 24 年 10 月 17 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社アスペックス
本 件 担 当 者：SaaS/ASP推進部 西川 真弥
住 所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル17階
T E L：03-3340-2688
U R L：http://www.aspex.co.jp/
設 立 年 月 日：2000年6月1日
資本金(百万円)：4,550万円
従 業 員 数：10名
事 業 内 容：ASP事業全般

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・中小企業向け SFA (営業支援システム)

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・GrooForce (グルーフォース)

●プレゼンテーションテーマ

- ・超現場型 SFA GrooForce (グルーフォース) のご紹介 ～営業マンが使いたくなる、導入に失敗しない SFA!～

●プレゼンテーション概要

- ・低価格と高品質の両立を実現した使える SFA 『GrooForce 980』営業マンが営業マンのために作った現場目線の SFA だから、「そうそう、こんな機能が欲しかった!」と、納得の機能を搭載。何よりも、利用すれば成果が上がると実感できる SFA を、月額費用のみで手軽にご利用いただけるサービスです。ぜひ皆様のお力をお貸しください!

●プレゼンテーションの目的

[1] [] [] [2]
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

<提携の具体的な内容>

- ・販売代理店募集
- ・サービス連携 (その他提携)

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・小さく入って大きく広げる、最初の 2ID は無期限で無料なので、ぜひ御社製品の売り込み時に、ドアノック商材としてご利用いただけます。
- ・低価格で提供しているので、皆様のサービスと連携することにより、利用価値の高いサービスとして相互展開することができます。

第 97 回 (平成 24 年 11 月 28 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社パートナー (NSA 会員)
部 署 名：ワルツ事業本部
本 件 担 当 者：千賀 明 発表者：宇田川 重穂
住 所：〒104-0061 東京都中央区銀座5-10-2 銀座中央ビル
T E L：03-3575-9000
F A X：03-3573-8500
U R L：http://www.go-partner.jp
ア ド レ ス：a-senga@go-partner.jp
設 立 年 月 日：1996年3月1日
資本金(百万円)：86,386千円
従 業 員 数：358名
事 業 内 容：・WaltzによるWeb開発
・システムインテグレーション
・IT派遣請負

アライアンスビジネス交流会発表内容

●製品・サービスの分類

- ・アプリケーション開発 (ノンプログラミング) エンジン

●製品・サービス名

- ・W a l t z 5

●プレゼンテーマ

- ・W a l t z 5 の紹介

●プレゼン概要

- ・製品概要説明
- ・W a l t z 5 デモ

●プレゼンテーションの目的

- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| [2] | [3] | [] | [1] |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |

<提携の具体的な内容>

- ・W a l t z 5 の利用
- ・パッケージビジネス
- ・販売代理店

●相手企業へのメリット

- ・開発コスト削減 → 70~80%削減
- ・営業力強化 → プロトタイプ営業、プロトタイプコンサル
- ・利益率向上 → プロジェクト単位で 50%以上 (当社実績)

第 97 回 (平成 24 年 11 月 28 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名 : アイビーシー株式会社
本 件 担 当 者 : 梶田将成
住 所 : 〒104-0033 東京都中央区新川1-25-2 新川STビル3F
T E L : 03-5117-2780
U R L : <http://www.abc21.co.jp/>
設 立 年 月 日 : 2002年10月16日
資本金(百万円) : 9,150万円
従 業 員 数 : 29名
事 業 内 容 : ネットワークシステム性能監視ツールの開発/販売/サポート
ネットワークシステムの性能評価サービス
ネットワークシステムの設計・構築、コンサルティング
各種機器、ソフト販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・ ネットワーク、サーバ、仮想環境の性能管理ソフトウェア製品
- プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・ System Answer G2 (システムアンサージーツー)
- プレゼンテーションテーマ
 - ・ システム運用における詳細性能監視の効果
- プレゼンテーション概要
 - ・ マルチベンダ化かつ複雑化したネットワーク、サーバ、仮想環境の稼働状況、性能状況を容易に「見える化」することが可能です。
運用における障害切り分け、問題原因特定、キャパシティ計画、投資判断を根拠となる性能情報を活用することで迅速かつ適正に実施することが可能となり、システム安定稼働が実現します。
- プレゼンテーションの目的

[1]	[2]	[]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・ 提携先企業様との性能監視サービス企画、協業販売
 - ・ 提携先企業様との製品販売協業
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・ ストックビジネスの創出
 - ・ 他社運用サービス等との差別化

第 97 回 (平成 24 年 11 月 28 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：日本ディクス株式会社(NSA会員)
部 署 名：営業本部
本 件 担 当 者：眞弓映二 発表者：眞弓映二
住 所：〒108-0073 東京都港区三田3-4-10 リーレジリザカ3F
T E L：03-5765-5500
F A X：03-5765-5101
U R L：<http://www.ndics.co.jp/index.html>
ア ド レ ス：sales@ndics.co.jp
設 立 年 月 日：平成10年8月6日
資本金(百万円)：70百万円
従 業 員 数：198名
事 業 内 容：ITサービス事業

アライアンスビジネス交流会発表内容

●製品・サービスの分類

- ・シンクライアント
- ・仮想デスクトップ

●製品・サービス名

- ・仮想デスクトップソリューション

●プレゼンテーマ

- ・(仮) 最適化仮想デスクトップソリューション

●プレゼン概要

- ・先進する MicrosoftOS に合わせて、従来利用してきたパソコンも仮想環境上での利用が注目されています。
まだまだ発展途上の技術をどのように情報システム環境に組み込んで有効活用するか？
また多種多様なミドルウェアが存在する中で、どのように選定するか？
当社では大手 SI 企業に比べまだまだ後発ではありますが独自のマーケティングを駆使した、現在の利用ニーズについて事例も含めて、ご紹介します。

●プレゼンテーションの目的

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| [1] | [2] | [4] | [3] |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |

●相手企業へのメリット

- ・まだまだ発展途上のソリューションをパートナー企業様と協力して、市場に展開していく当社ならではのコストパフォーマンスで、大手競合各社とも対等なソリューション提供が可能

第 97 回 (平成 24 年 11 月 28 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社デジタルコミュニケーションズ
本 件 担 当 者：福重 青史
住 所：〒105-0012 東京都港区芝大門 1 - 1 - 3 3 三洋ビル 2 F
T E L：03-5733-9566
U R L：www.sgml-xml.jp/
設 立 年 月 日：1998年1月22日
資本金(百万円)：90百万円
従 業 員 数：10名
事 業 内 容：XML ツール・ソリューション受託開発／製品開発販売

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・ Word 新旧文書比較ツール
(『新旧対照表』作成ツール、履歴比較レポートツール)

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・ 新旧文書比較ソフト

●プレゼンテーションテーマ

- ・ 製薬業トップ 10 の 5 割、生保トップ 10 の 3 割 他累計 2000 ライセンスの実績を持つ新旧文書比較ソフトのご紹介

●プレゼンテーション概要

- ・ 『新旧対照表』の提出は金融、製薬の申請に必須の要件です。
本ソフトは『新旧対照表』を自動生成します。従来の手作業による危険性を排除し、効率的に作成します。

●プレゼンテーションの目的

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| { 1 } | { 2 } | { 4 } | { 3 } |
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- <提携の具体的な内容>
- ・ 販売代理店募集、顧客の共同発掘 (提案)

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ 本ソフトをドアノックツールとして業界単位での販売と深耕提案効果が高まります。

第98回（平成25年2月20日実施）

プレゼンテーション企業会社概要

会社名：ビジネスメンター株式会社
本件担当者：竹林誠二
住所：〒141-0022 東京都品川区東五反田1-10-7 AIOS五反田ビル
TEL：03-6215-8332
URL：http://www.bm-c.jp/
設立年月日：2003年4月25日
資本金(百万円)：10百万円
従業員数：5名
事業内容：システム開発

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・クラウド電子印鑑サービス

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・Brownie for Stamper(ブラウニー フォー スタンパー)

●プレゼンテーションテーマ

- ・Brownie for Stamper のご紹介

●プレゼンテーション概要

- ・書類の電子化進めるなかで、大きな妨げになっている仕事は、確認・承認の証として利用している“印鑑”と考えております。
- ・Brownie for Stamper は、クラウドサービスにより提供し、PC、タブレットなどのブラウザを利用し、シンプルな操作でPDF ファイルへ捺印が可能です。社内規約上、社外へ電子ファイルを配置できないお客様へは、オンプレミス（個社別提供）も可能です。
- ・ネットワークにつながる環境であれば、どこでも捺印可能です。社内利用にとどまらず、グループ会社間、取引先間など企業間での利用も可能になり、仕事のスピードアップが図れます。
- ・システム管理のため、印鑑の捺印履歴や操作上のアクションログをシステムで保持し、いつ、だれが、どの印鑑を利用したか確認が可能です。
- ・Brownie の API を利用することで既存システムとの連携も可能です。

●プレゼンテーションの目的

- | [1] | [2] | [3] | [4] |
|------|------|------|-------|
| 販売提携 | 技術提携 | 資本提携 | その他提携 |
- <提携の具体的な内容>
- ・販売代理店を募集します。

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・ブラウザを利用した捺印システムは、まだ、類似のシステムが提供されていないため、競合がありません。弊社とアライアンスを組むことで、既存で展開されているシステム・サービスの幅をひろげ、お客様に満足いただけるシステム提供が可能になると考えております。

第 98 回 (平成 25 年 2 月 20 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：エポックサイエンス株式会社(JASA会員)
本 件 担 当 者：堀川公也
住 所：〒253-0102 神奈川県高座郡寒川町小動415-3
T E L：046-772-0120
U R L：http://www.epochscience.co.jp/index.html
設 立 年 月 日：1987年(昭和62年)7月24日
資本金(百万円)：10百万円
従 業 員 数：13名
事 業 内 容：設計開発・基板実装・組立配線・部品購買

アライアンスビジネス交流会発表内容

●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・家庭・オフィス用可搬型蓄電システム。

●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・VENUS (ビーナス)

●プレゼンテーションテーマ

- ・電源システム「VENUS (ビーナス)」の御案内。

●プレゼンテーション概要

- ・バッテリーの経年劣化が緩やか。
- ・周囲温度 500℃でも発火しない安全性。
- ・長寿 2,000 回/80DOD%・3,000 回/70DOD%

●プレゼンテーションの目的

[1] [3] [2] []
販売提携 技術提携 資本提携 その他提携

<提携の具体的な内容>

- ・販売代理店募集
- ・ECHONET Lite 対応開発パートナー募集。

●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・販売提携：予期せぬ災害や停電時、又は計画停電時の事業継続(BCP)が可能。
大型システムと異なり設置工事を必要とせず、購入してすぐ使えて手軽。
中小企業、SOHO オフィスに提案しやすい容量とサイズ。AC100V,5A,10
時間。
- ・技術提携：HEMS 総合的サービスのアイテム拡大。

第 98 回 (平成 25 年 2 月 20 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社メディアシーク
本 件 担 当 者：鷺津郁子
住 所：〒106-0047 東京都港区南麻布3-20-1麻布グリーンテラス3階
T E L：03-5423-6600 (代表)
U R L：03-5423-6601
設 立 年 月 日：2000年3月
資本金(百万円)：814百万円 (2012年7月31日現在)
従 業 員 数：69名 (2012年7月31日現在)・グループ従業員数158名
事 業 内 容：システム開発・コンサルティング、ソフトウェア開発、
デジタルコンテンツ

アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
 - ・スマートフォン向け販促ツール
- プレゼンテーションする製品・サービス名
 - ・AppCMS / ICONIT アイコンマネージャー
- プレゼンテーションテーマ
 - ・スマートフォン向け 020 (オーツーオー) マーケティングプラットフォームご紹介
- プレゼンテーション概要
 - ・累計 300 万 DL のスマートフォン用 QR・バーコードリーダーアプリ『アイコニット』をベースにした、020 (オーツーオー) マーケティングプラットフォームのご紹介および販売代理店の募集
- プレゼンテーションの目的

[1]	[3]	[4]	[2]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・CMS の販売代理店募集
 - ・広告枠の販売代理店募集
 - ・その他、相互にメリットがある提携があれば。
- アライアンス対象の相手企業のメリット
 - ・初期投資ゼロでスマートフォン向けの販促プラットフォーム販売ができる。

第 98 回 (平成 25 年 2 月 20 日実施)

プレゼンテーション企業会社概要

会 社 名：株式会社イーアールアイ (JASA 会員)
本 件 担 当 者：取締役 畑中 陽一朗
住 所：〒020-0125 岩手県盛岡市上堂三丁目8-44
T E L：019-648-8566
U R L：http://www.erii.co.jp
設 立 年 月 日：2003年5月8日
資本金(百万円)：48百万円
従 業 員 数：44名
事 業 内 容：組込み機器のハードウェア&ソフトウェア設計・開発

アライアンスビジネス交流会発表内容

- **プレゼンテーションする製品・サービスの分類**
 - ・スマートフォンへのエリア限定情報配信端末
(屋内位置情報、広告、クーポン、観光案内 等の情報配信)
- **プレゼンテーションする製品・サービス名**
 - ・ BLUETUS (ブルータス)
- **プレゼンテーション発表テーマ**
 - ・ 情報配信端末のご紹介
- **プレゼンテーション製品の概要**
 - ・ Bluetooth のデバイス探索動作を利用して複数のスマホへ同時に情報を配信するサービス
 - 【特 徴】・ 配信距離 10m 以内 /
 - ・ 特別なハードウェアが不要 (スマホへ情報配信)
 - ・ ペ어링操作不要 / ・ 屋内位置情報や URL 情報等々配信可能
 - 【活用例】・ 近距離でのクーポン配信 / ・ デジタルサイネージとの融合による情報配信
 - ・ 美術館・博物館等での展示品紹介 / ・ 屋内ロケーションシステム
- **プレゼンテーションの目的**

[1]	[2]	[]	[]
販売提携	技術提携	資本提携	その他提携

<提携の具体的な内容>

 - ・ 新たなビジネスの構築
- **アライアンス対象の相手企業のメリット**
 - ・ 近距離でのクーポン配信や屋内位置情報を提供することにより、新たなソリューションやサービスでのビジネス展開が考えられます。

アライアンスビジネス委員会
委員ピックアップコメント

アライアンスビジネス委員会 委員ピックアップコメント

日本事務器株式会社
事業推進本部 事業計画部
兼 クラウドサービス事業推進部
部長
廣田 泰久 氏



「今」でしょう！ アライアンスの時代

時代は、クラウドへと大きくシフトしてきています。またクラウドサービスを活用する上でモバイル端末も必要な道具となってきています。そんな中、アライアンスビジネス交流会においても、今年度のプレゼン企業のほとんどがクラウド、モバイルに関連した内容になっていたと思います。

平成22年度よりアライアンスビジネス委員会メンバーとして3年間、ほぼ毎回、参加させて頂きました。その間、多くのプレゼン企業の皆様、そして懇親会での交流と多くの企業の方々と出会いお話しをさせてもらい、大変勉強になりました。と同時にこの数年間で世の中の移り変わりの激しさ、またはIT業界全体のスピードの速さをあらためて実感しております。弊社日本事務器においてもiPhone3の時代からそれを導入し、業務で活用していたのですが、その当時は街中や電車内でスマホを利用している人はあまり見かけられませんでした。しかし、この数年間にほとんどの人がスマホを利用し、今では企業内でもスマホ、モバイル端末を活用することが当たり前になっています。このクラウド&モバイルの流れは益々勢いを増してくることでしょう。

そんな流れの速い中では、技術とスピード感を持ち合わせたベンチャー企業こそがまさに活躍するチャンスであると思っています。

また、技術、販売、サポートにおいては、1社で一からすべてをまかなうのではなく、各社が得意とするものを持ち合わせ、無い物を補完し、組み合わせて、それをお客様に提供する時代となっていると思います。

そんな中、アライアンスビジネス交流会は、企業と企業の出会いの場であり、情報交換の場であり、得意なものをアピールし、欲しいものを探して、そしてマッチングし、新たなビジネスがうまれる場であると思います。

まさにいまこそがアライアンスの時代といえるのではないでしょうか。

平成25年度は、6月に記念すべき100回目の交流会を迎えます。これをひとつの大きな節目として、今後も200回、300回とこのアライアンスビジネス交流会がますます活発に続きますよう、皆様に盛り上げていきましょう！

平成 24 年度 アライアンスビジネス委員会 活動報告書

平成 25 年 3 月 発行

発行 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4 階
TEL : 03-3560-8440 FAX : 03-3560-8441
URL : <http://www.csaj.jp/>

©2013 Computer Software Association of Japan